

2026年度 年間指導計画

鹿島朝日高等学校							
教科	国語	科目	文学国語	履修区分	選択	使用教科書	
						東京書籍 『文学国語(701)』	
添削指導回数	12	面接指導回数	4	単位認定試験	1	副教材等	NHK高校講座 東京書籍インターネット講座

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次々と育成することを旨とする。
 ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 ②深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習に取り組み際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
面接指導	●視聴票・面接指導の出席と合わせ、①～④の計4時間となるように提出する。 ※視聴票による減点は原則1時間(90分減)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て終了後に受験。
	単位修得(認定)に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導		面接指導				単位認定試験	観点別評価	
	No.	開講番号	開講期	視聴票	NHK高校講座	観点		評価基準	
p.8~14「光の窓」 p.44~49「言葉を生きる」	1							知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く言葉と感覚との関係について、筆者の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめ、発表しようとしている。
p.20~33「山月記」	2	①	I・Ⅲ期	13.21.22	p.20~33		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	
p.59~70「山椒魚」 p.92「文学への扉『小説は誰のものか』」	3						知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察している。「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまとめようとしている。	
p.98~103「永訣の朝」 p.104~107「鴉子の駒一短歌抄」	4						知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとしている。進んで短歌独自の特色と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめようとしている。	
p.116~147「こころ」	5	②	I・Ⅲ期	23.24.25.26	p.116~147		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	
p.150~160「文学のふるさと」	6						知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く具体例と筆者の主張との関係に注意して本文を読み、学習課題に沿って文学のふるさとについて、筆者の考えを理解し、まとめようとしている。	
p.190~198「国語から旅立って」 p.199~204「書かれた風景の中へ」	7						知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く筆者の多言語体験に基づいた考えを読み取り、学習課題に沿って言葉と自分との関係について考えを深めようとしている。	
p.206~216「檸檬」	8	③	Ⅱ期	34.45.46	p.206~216		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 「読むこと」において、語り手の言動や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿って「私」の心情の描かれ方について考え、話し合おうとしている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く「私」の言動や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿って「私」の心情の描かれ方について考え、話し合おうとしている。	
p.228~229「拂途」 p.232~235「金剛の露一佛句抄」	9						知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	主体的に学習に取り組む態度 進んで描かれた表現の特徴を理解し、学習課題に沿って「言葉」に対する「ぼく」の思いを読み取ろうとしている。	
p.266~289「父と暮せば」	10						知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 進んで対話の中から登場人物の状況や心情を読み取り、学習課題に沿って「平和」や「生きること」について自分の考えをまとめようとしている。	
p.330~334「演技する「私」」 p.335~344「映画の可能性のために」	11	④	Ⅱ期	54.55.56	p.228~229 p.232~234		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。	
p.348~361「葉桜と魔笛」 p.362~372「蠅」	12						知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察している。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く物語の展開を把握し、登場人物の心情を読み取り、学習課題に沿ってこの作品における時間の流れの役割について話し合おうとしている。	

全課程から問題を選出し、出題する。